



国内外でシャープブランドの再構築とシェア拡大に取り組むシャープ!!

その全貌を生産・販売体制、購買戦略、海外進出、協力企業の動向などから完全解明!!

シャープグループの実態 2011年版

好評受付中!

2011年1月9日発刊

■体 裁：A4判 / 438頁
 ■定 価：60,900円
 (価格は税込、送料込み)

株式会社 アイアールシー

本社：〒453-0801 名古屋市千区太閤4-4-9 TEL 052-451-8221(代) FAX 052-451-8225

<http://www.eIRC.co.jp> でも調査資料の詳細がご覧いただけます。

発刊にあたり

独自の特長デバイスを開発・展開する垂直統合型ビジネスで個々の製品価値を重視したスタンダードアローン型製品を創出してきたシャープは、省エネ/創エネ製品を中心とした製品展開を加速するなか、世界経済の枠組みや消費者の価値観変化をビジネスチャンスと捉え、消費地で基幹部品の生産から完成品の最終組立まで行う"地産地消型ビジネス"へと経営方針を大きく転換、事業構造の改革を図り、経営資源を最適分配することで収益向上を目指すとしています。

本調査資料は、地産地消型ビジネスモデルを推進し、海外でも垂直統合型ビジネスの構築を目指すシャープの事業概要、国内/海外生産・販売、研究開発、購買戦略、設備投資計画、グループ各社の資本人事・交流、同社の事業領域を分野別に分けて、その組織体制、担当分野、生産体制、事業戦略を明らかにし、グループ企業をはじめとする協力部品メーカーの会社概要、取引状況などを調査しています。貴社にて是非ご利用下さい。

《内容見本》「シャープグループの実態2011年版」より

第-4表 AVシステム事業本部の事業戦略

事業戦略
 <2010年度に液晶テレビの売上高8,200億円、全世界販売台数1,500万台を見込む>
 2009年度における液晶テレビ事業の売上高は、前年度比8.6%減の6,668億円と減少したものの、台数ベースでは同1.8%増の1,018万台と1,000万台の万台を突破し、需要は拡大傾向にあり、2010年度の売上高は同26.0%増の8,400億円、販売台数は同47.2%増の1,500万台を見込んでいる。
 新技術パネルを採用したLED AQUOSに加え、3D液晶テレビを主軸として高価格帯製品を日本国内はもちろんのこと、中国、欧米市場でも拡販活動を展開、日本国内は前年度比1.4倍の780万台、中国は同2倍の240万台、米州は同1.4倍、欧州は同1.6倍に販売台数を引き上げるとしている。
 液晶テレビ全体のうち、3Dテレビの比率を5~10%まで比率を引き上げ、特に2009年度に販売が低迷した欧米地域でのシェア挽回に力を注ぐとしており、ハイエンドモデルの販売増で、2011年度には3Dテレビの比率を日本国内で50%、世界では20~30%まで高める方針である。
 <矢板(栃木)工場の機能を強化>
 同社は、2009年10月1日付の組織変更でAVシステム事業を束ねるAVシステム事業統轄を設置し、「AVシステム事業本部」に加え、新たに設けた「AVシステム管理本部」「AVシステム開発本部」を編入、全ての本部長をAV機器のメザー工場である矢板(栃木)工場に駐在させ、液晶テレビをはじめ、BD/DVDレコーダー、オーディオなど売上高の3分の1以上を占めるAVシステムの事業体制を強化している。

第-4表 シャープグループの主要部品・部材調達状況

企業名 グループ企業は太字表記	国内工場	関連企業	海外	納入部品・部材他	納入
精工エスエル電子	-	-	-	(海外)PT. EX Batam IndonesiaからS&O Electronics(Malaysia)-ビツクアップアサヒエー	値
S M K (株)	矢板 八尾 東広島 大和郡山 福山 天理 龜山	シャープ 新潟 電子工業	-	(国内)矢板-FPCコネクタ、電源コネクタ、マイク、小型シヤック、ピンコネクタ、LEDコネクタ、八尾-LEDコネクタ、小型シヤックなど、東広島-携帯電話用コネクタ、小型シヤック、同軸コネクタ、イヤホンコネクタ、ヘッドホンコネクタなど、大和郡山-キーボード、スイッチ、小型シヤック、ピンコネクタ、LEDコネクタなど、福山-スイッチ、天理-コネクタ、龜山-小型シヤック、FPCコネクタ、LEDコネクタなど (関連)シャープ 新潟電子工業-FPCコネクタ、ピンコネクタ、小型シヤック (海外)同社海外拠点から夏音電子-ピンコネクタ、LEDコネクタ、コネクタなど、Sharp Manufacturing Corp. (U)、Sharp Electronics (M)-CRTコネクタ、電源コネクタ、ピンコネクタ、LEDコネクタ、小型シヤック、FPCコネクタなど、Sharp Appliance (Thailand) 無線夏音電子元器件	値
精工ステイキ	東広島	-	-	(国内)東広島-携帯電	
精工エスケー エレクトロニクス	天理、多気 龜山、堺(液晶)	-	-	(国内)天理、多気、龜	
NECトーキン(株)	八尾 東広島など	-	-	(国内)八尾、東広島コ	
NSソーラーマテリアル(株)	葛城	-	-	(国内)葛城-太陽電池	
精工メテック	東広島 大和郡山 堺(液晶)ほか	-	-	(国内)東広島、大和郡山など向け小・中型高精(液晶)-大型液晶テレビ	
精工ノモト	葛城 三原	-	-	(国内)葛城-フォトマスク (海外)ENOMOTO PHILIP、T. Sharp Semiconduct	
エフ・シー・アイ・ ジャパン(株)	各工場	シャープ マイクロエレクトロニクス システム シャープ 新潟 電子工業 シャープ 天理 シャープ 天理	-	(国内)各工場-コネクタ (関連)シャープマイクロエレクトロニクス、シャープ天理電子工業 (海外)FPCコネクタを適	

〇〇工業株式会社

会社概要	[本社] 〇〇〇市〇〇661 千 〇〇〇-8390 電 〇〇〇-〇〇〇-6311 [資本金] 7億9,325万円 [代表者] 〇〇〇〇〇 [従業員総数] 280名 [取引銀行] 紀陽銀行、みずほ銀行、りそな銀行、南都銀行 [主要製品] フレキシブルプリント配線板(片面、両面、多層、パンプ)、各種プリント配線板検査機、鏡面研磨機、ブローバー、エレクトロフォーミング加工 [構成比] 電子基板など90%、基板検査機7%、鏡面研磨機3%
販売体制	[業績] 連結 2009年 12月期 = 3,363 百万円 (経 ▲426百万円) 経率 (-%) 連結 2010年 12月期 = 4,134 百万円 (経 44百万円) 経率 (1.1%) [主要取引先] (納入先) シャープ、パナソニック、キヤノン、大分キヤノン、キヤノンプレジジョン、ニスカ、キヤノン電子、リコー、セイコープレジジョン、セイコーエプソン、セイコーインスツル、松下電器グループ、三洋電機、三洋精密、三洋電機コンシューマエレクトロニクス、ソニー、ソニーEMCS、ソニーケミカルなどソニーグループ5~6%、富士フィルム、フジノン、三菱電機、アドバンスト・ディスプレイ (仕入先) イズワック工業、協栄プリント技研、富士商工マシナリー、ビックライズ シャープへの納入状況 (国内) 三原-プリント配線板

[目 次]

第I部 シャープの事業概要	II-3 製品別マーケットシェア	III-3 事業戦略
第I章 会社概要	II-4 国内/海外販売計画	第IV章 ビジネスソリューション事業推進本部
I-1 沿革	第III章 設備投資戦略と環境活動	IV-1 組織と体制
I-2 事業内容と業績	III-1 設備投資戦略	IV-2 生産拠点
I-3 組織	III-2 環境活動	IV-3 事業戦略
I-4 グリーンフロント堺	第IV章 購買戦略	第V章 通信システム事業本部
I-5 シャープグループ	IV-1 購買体制	V-1 組織と体制
I-6 提携状況	IV-2 購買方針	V-2 生産拠点
第II章 製品構成	IV-3 主要部品・部材調達状況	V-3 事業戦略
II-1 AV・通信機器	第V章 研究開発戦略	第VI章 ネットワークサービス事業推進本部
II-2 健康・環境機器	V-1 研究/技術開発体制	VI-1 組織と体制
II-3 情報機器	V-2 技術提携/共同開発動向	VI-2 生産拠点
II-4 液晶	V-3 研究開発動向	VI-3 事業戦略
II-5 太陽電池	第VI章 資本・人事交流	第VII章 ソーラーシステム事業本部
II-6 その他電子デバイス	VI-1 役員の担当分野と経歴	VII-1 組織と体制
第III章 経営戦略	VI-2 職制と人事	VII-2 生産拠点
III-1 事業ビジョン	VI-3 シャープグループの資本・人事交流	VII-3 事業戦略
III-2 事業領域のシフト	第III部 事業分野別戦略	第VIII章 電子デバイス事業本部
III-3 主力事業の成長戦略	第I章 AVシステム事業本部	VIII-1 組織と体制
III-4 中国液晶生産プロジェクト	I-1 組織と体制	VIII-2 生産拠点
第II部 シャープグループの事業戦略	I-2 生産拠点	VIII-3 事業戦略
第I章 国内/海外生産戦略	I-3 事業戦略	第IX章 液晶事業本部
I-1 国内/海外生産体制	第II章 健康・環境システム事業本部	IX-1 組織と体制
I-2 製品別生産マトリックス	II-1 組織と体制	IX-2 生産拠点
I-3 OEM/生産委託状況	II-2 生産拠点	IX-3 事業戦略
I-4 国内/海外生産計画	II-3 事業戦略	第IV部 系列/協力企業の実態
第II章 国内/海外販売戦略	第III章 ドキュメントソリューション事業本部	第I章 シャープグループ
II-1 国内/海外販売体制	III-1 組織と体制	第II章 その他協力企業
II-2 販売提携状況	III-2 生産拠点	

◆第I部では、沿革、事業内容および業績、組織体制、グリーンフロント堺の概要詳細、グループ企業、製品構成、経営戦略などシャープの会社概要をみていきます。

◆第II部では、国内/海外での生産・販売/設備投資/購買/研究開発戦略などをみていくほか、役員の担当分野、職制、グループ各社の資本人事・交流を調査・報告しています。

◆第III部では、シャープの手がける事業領域を「AVシステム」「健康・環境」「ドキュメントソリューション」「ビジネスソリューション」「通信システム」「ネットワークサービス」「ソーラーシステム」「電子デバイス」「液晶」の9分野に分け、その組織体制、主要製品群、国内/海外生産拠点、今後の事業戦略を明らかにしています。

◆第VI部では、シャープのグループ企業をはじめ、主要協力企業の会社概要、生産体制、シャープとの取引状況を調査・報告しています。

◆ 申込方法



フリーダイヤル

FAX 0120-020-472

電話 052-451-8221(代)

※フリーダイヤルFaxをご使用になれない場合は、Fax 052-451-8246 をダイヤルしてください。また、電話による受け付けも行っております。

株式会社 アイアールシー 営業部

本社：〒453-0801 名古屋市中村区太閤4-4-9 TEL 052-451-8221(代) FAX 052-451-8225

〈 キ リ ト リ 〉

〈 e I R C 行 オーダーフォーム〉

◎弊社では見計りによる販売も行っております。通信欄に必要事項をご記入ください。

シャープグループの実態 2011年版

■発刊：2011年1月9日

■体裁：A4判/438頁

定価：60,900円

部

■当社の定価および予約価格（発刊までの代金前納に限る）は、消費税込、送料込み価格です。但し、海外への発送費はお客様負担となります。

◎封筒に貼付してあります顧客ラベルで、住所・担当者変更等がございましたら、このオーダーフォームに新旧をご記入の上、ご連絡ください。

会社名：

住所：〒

電話：

F a x：

購入部課：

担当者（氏名）：

印

フルネームで
ご記入ください。

役 職：

通信（見計り希望など）：

自動車産業レポート

○チェック

※1ヶ月間の無料見本誌送付を希望 []